

# 青学ボランティア新聞

## 制作班 Y.A (中高生) 向けのブックリスト わい、ず☆とんとん 発行しました！

12月、図書館から年4回発行されているY.A (ヤングアダルト・中高生) 向けブックリスト『わい、ず☆とんとん』について『青学ボランティア特別号』を刊行した。冊子制作と併せてクイズ、プレゼント企画を実施した。左に制作班のメンバーによる編集後記を記載している。

メンバーから斬新で面白いアイデアが次々と挙がり、楽しく企画させていただきました。私の掲示板活用などの案も採用されてお届けでき、嬉しかったです。(赤堀)

最初は図書館でのイベントは難しいのではと思っていたのですが、曖昧だったアイデアが相談を重ねるにつれて形になつていくのがとても面白かったです。おはなし会班など他の班の活動も見学することができ、良い経験になりました。(川上)



▲制作した冊子の表紙

### 相模原市立図書館 ボランティア活動報告 特別号

## 読書班

## 展示企画テーマ 月と星

読書班では9月と12月とで展示企画を実施した。図書館の中から自らがオススメする本をテーマに沿つて展示し、新たな本と出会う機会を与える活動である。

中でも12月は、相模原市がJAXAに親交があることから「月と星」をテーマに選んだ。展示の飾りやPOPの作成だけではなく、見た人が楽しめるようにうにと宇宙に関する葉も作成した点が工夫点である(写真・下)。

展示企画を実施した学生二人は、幼いころ好きだった本を再発見したことや、新たな本のジャンルに挑戦できたと話した。また、二人は青山学院大学で司書課程を取得しており、図書館で働くことのイメージを掘ることにもつながったと話している。



▲展示全体



▲装飾と景品の葉

# おはなし会班 相模原市立図書館・未来一 読み聞かせ



### ▲9月おはなし会の様子

声の抑揚や人形の動かし方を工夫し、全員に見えるよう意識するなど、細かな点にも気を配つていた。さらには読み聞かせの合間に手遊びを入れることで飽きさせずに楽しんでもらうことことができた。

本年度、おはなし会班は図書館や書店での読み聞かせを通して、子どもたちと直接ふれあい、本の魅力を伝える活動を行つた。

この活動では、まず事前に読む本を決め、何度も練習を重ねた上で本番に臨む。子どもたちが飽きずに楽しめることを第一に考え、大型絵本やエプロンシアターなど、「特別感」のある本を取り入れることも大切にしているという。本番では、



## ▲おはなし会班員



### ▲12月おはなし会の様子

店で

コラム

# 相模原市立図書館を 青山学院大学ほか 相模原市に在学 の皆さまも利用できます！

## △貸出券の作り方△

学生証など（住所と在学を確認できる書類）

を持ち、一階入り口近くの登録カウンター  
でお越しください。

△大学図書館と相模原市立図書館併用の魅力△

◎ 小説、公的資料が豊富

→ 大学図書館では貸出済みの状態で多くの本が置かれています。

用可の場合がある

## ◎相模原市電子書籍サービス

→電子書籍が借りられるサービス。一回の貸出につき一冊、一週間借りられ、自動的に返却される

詳しへは図書館ホームページを<sup>ア</sup>確認<sup>ス</sup>ださい。

## ★相模原市立図書館ボランティアとは?

2024年度より始まつた青山学院大学シリックエンジメントセンター主催のボランティア活動です！学部・学科、所属キャンパス関係なく、本が好きな学生や図書館に興味のある学生が集っています。2026年度も参加学生募集予定です！興味のある方はシビックエンジメントセンターよりチェックしてください！